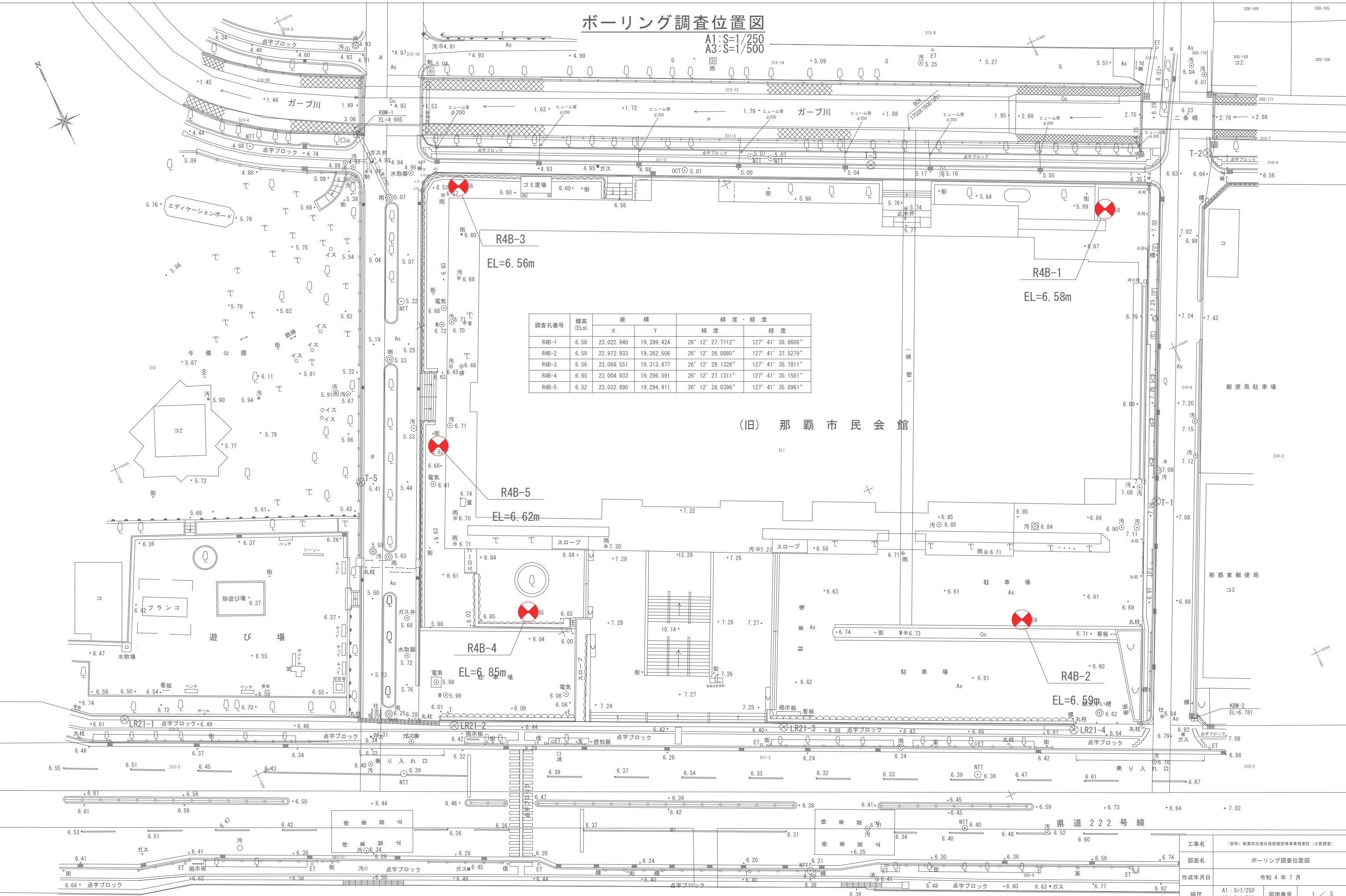


ボーリング調査位置図

A1:S=1/250  
A3:S=1/500



(旧) 那覇市民会館

工事名	(仮称) 那覇市志摩台施設建設事業業務委託 (土質調査)		
図面名	ボーリング調査位置図		
作成年月日	令和 4 年 7 月		
縮尺	A1 : S=1/250 A3 : S=1/500	図面番号	1 / 5
会社名	[Redacted]		
事業者名	那覇市・まちなみ共創部 建築工事課		





# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 (仮称) 新真和志複合施設建設事業業務委託(土質調査)

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	R4B-3	調査位置	沖縄県那覇市寄宮1丁目2番1号	北緯	26° 12' 29.1326"
発注機関	那覇市 まちなみ共創部 建築工事課	調査期間	2022年 6月 16日 ~ 2022年 6月 17日	東経	127° 41' 35.7811"
調査業者名					
孔口標高	EL=6.56m	角	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総削孔長	12.23m	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機 YBM-05DA エンジン NFD-9
				ポンプ	SSR-55

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日							
												深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	深度 (m)	試料番号	採取方法			
	6.06	0.50	埋土 (砂礫)	埋土 (砂礫)		黄褐~淡灰褐				埋土層 表層より6cmはアスファルト、0.06m~0.50mは石灰岩砂礫による埋土。		1.00	0	1	1	150	150									
1			埋土 (礫混じり粘土)	埋土 (礫混じり粘土)		淡灰褐 / 淡褐				埋土層 全体的に礫混じり粘土を呈し、5cm~8cm程度の石灰岩礫を混入する。	06/20 2.52	1.45	0	1	1	150	150									
2											06/23 3.37	2.15	1	1	1	150	150									
3	3.76	2.80										2.45	1	1	1	150	150									
4			粘土	粘土		褐 / 灰				沖積層 沖積粘土を主体とし、部分的に砂を挟む。 3.80m~4.00m間に黒色の腐食物を混入、4.00mSPTサンプラー内に5cm程度の腐食した木片を混入する。 コンシステンシーは「軟らかい」状態である。		3.15	1	1	2	150	150									
5	2.01	4.55								第三紀島尻層群泥岩層 島尻泥岩の風化部で、風化の影響により軟化し、低含水比、高粘着でコンシステンシーは「固結した」状態である。 6.50m付近に1cm程度の黒色の凝灰質砂層を挟む。		3.45	0	1	1	250	120	120	190							
6			風化島尻泥岩	風化島尻泥岩		灰 / 淡灰						4.00	0	1	1	250	120	120	190							
7	-0.44	7.00										4.49	11	12	13	180	180	217								
8												5.15	11	12	13	180	180	217								
9												5.45	13	16	20	180	180	217								
10			島尻泥岩	島尻泥岩		淡灰				第三紀島尻層群泥岩層 島尻泥岩の新鮮部、低含水比、高粘着でコンシステンシーは「固結した」状態である。 8.48m付近に1cm程度の黒色の凝灰質砂層を挟み、所により有孔虫遺骸を混入する。		6.15	13	16	20	180	180	217								
11												6.45	18	27	15	60	60	260	217							
12	-5.67	12.23										7.15	18	27	15	60	60	260	217							
												7.41	32	28	80	60	180	150								
												8.15	32	28	80	60	180	150								
												8.33	60	90	60	60	90	75								
												9.15	33	27	60	60	160	133								
												9.24	35	25	50	60	150	125								
												10.15	35	25	50	60	150	125								
												11.15	60	80	60	60	80	67								
												11.30	60	80	60	60	80	67								
												12.15	60	80	60	60	80	67								
												12.23	60	80	60	60	80	67								

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 (仮称) 新真和志複合施設建設事業業務委託 (土質調査)

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	R4B-4	調査位置	沖縄県那覇市寄宮1丁目2番1号			北緯	26° 12' 27.1311"						
発注機関	那覇市 まちなみ共創部 建築工事課			調査期間	2022年 6月 14日 ~ 2022年 6月 15日		東経	127° 41' 35.1551"					
調査業者名													
孔口標高	EL=6.85m	角度			方位			地盤勾配			使用機種	YBM-05DA	
総削孔長	13.25m	ポンプ	SSR-55										

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取	室内位置試験	削孔月日				
												深度-N値図		N値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	深度	試料番号	採取方法
1	5.80	1.05		埋土 (砂礫)		淡灰褐~淡黄白				埋土層 表層より10cmはコンクリート、0.10m~0.62mは粘土混じり砂礫、それ以下は石灰岩による埋土。	06/17 1.22	7	1.15	4	2	1	7	300						
2	4.95	1.90		埋土 (砂混じり粘土)		淡褐灰				埋土層	06/17 0.20	2	2.15	1	1	2	300							
3				粘土		淡褐灰~灰褐~淡灰				沖積層 全体的に沖積粘土を主体に、層上部は砂分を多く含み、所々に2mm~3mm程度の礫を混入する。コンシステンシーは「軟らかい」状態である。		3	3.15	1	1	1	3	300						
4	2.35	4.50		風化島尻泥岩		淡灰				第三紀島尻層群泥岩層 島尻泥岩の風化部で、4.50m~5.00m間は亀裂があり、亀裂部では褐色に変色が見られる。所により有孔虫遺骸や黒色の凝灰質砂層を混入する。6.00m及び7.00mのSPTサンプラー内に凝灰質砂がやや緩い状態で多く含む。		5	4.15	2	1	2	5	300						
5				風化島尻泥岩		淡灰						82	5.15	25	30	5	60	183						
6				風化島尻泥岩		淡灰						45	6.15	12	16	17	45	300						
7				風化島尻泥岩		淡灰						14	7.15	2	3	9	14	300						
8	-1.15	8.00		島尻泥岩		淡灰						164	8.15	52	8	10	60	92					6/14	
9				島尻泥岩		淡灰						257	8.26	60	70	60	70	58						
10				島尻泥岩		淡灰						225	9.15	60	80	60	80	67						
11				島尻泥岩		淡灰						200	10.15	60	90	60	90	75						
12				島尻泥岩		淡灰						225	11.24	60	80	60	80	67						
13	-6.40	13.25		島尻泥岩		淡灰						180	12.15	60	100	60	100	83					6/15	

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 (仮称)新真和志複合施設建設事業業務委託(土質調査)

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	R4B-5	調査位置	沖縄県那覇市寄宮1丁目2番1号	北緯	26° 12' 28.0396"
発注機関	那覇市 まちなみ共創部 建築工事課	調査期間	2022年 6月 21日 ~ 2022年 6月 22日	東経	127° 41' 35.0961"
調査業者名					
孔口標高	EL=6.52m	角	180° 上下 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総削孔長	14.29m	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機 YBM-05DA エンジン NFD-9 ポンプ SSR-55

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日				
												深度-N値図		N値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量				50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度	試料番号
1	5.59	0.93	埋土 (砂礫)	埋土 (砂礫)						全体的に砂礫を呈し、表層は6cmのアスファルト、0.06m~0.45mは石灰岩砂礫、0.45m~0.70mは礫混じり粘土、0.70m~0.93mコンクリートによる埋土。	06/23 2.06	5	1.15	3	1	1	5	300					
2	4.82	1.70	埋土 (礫混じり砂質粘土)	埋土 (礫混じり砂質粘土)						全体的に礫混じり砂質粘土を呈し、島尻泥岩を主体に砂を多く含み石灰岩礫を混入する。		3	2.15	2	1	1	4	170	370				
3	3.62	2.90	埋土 (粘土混じり砂礫)	埋土 (粘土混じり砂礫)						埋土層		2	3.15	1	1	1	3	150	150	400			
4				粘土						全体的に粘土混じり砂礫を呈し、相対密度は「緩い」状態である。		3	4.15	1	1	1	3	300					
5	1.07	5.45								沖積粘土を主体に、層上部は若干の礫を含有し、5m付近は有機物を含む。コンシステンシーは「軟らかい」~「非常に軟らかい」状態である。		0	ハンマー	自沈	0	450		450					
6				風化島尻泥岩						第三紀島尻層群泥岩層		31	6.15	9	11	11	31	300					
7										島尻泥岩の風化部、5.00m~6.00m間は亀裂があり、亀裂部は褐色に変色及び軟化する。所々に有孔虫遺骸や黒色の凝灰質砂を混入し、コンシステンシーは「固結した」状態である。		39	7.15	12	13	14	39	300					
8	-1.48	8.00										56	8.15	17	19	20	56	300	268				
9												180	9.15	60			60	100	83				
10												180	10.15	60			60	100	83				
11				島尻泥岩						第三紀島尻層群泥岩層		164	11.15	51	9	10	60	110	92			6/21	
12										島尻泥岩の新鮮部、低含水比、高粘着でコンシステンシーは「固結した」状態である。8.60m~8.78m間は黒色の凝灰質砂を挟む。8.45m~9.80m間は亀裂が多く見られる。		150	12.15	52	8	20	60	120	100				
13												95	13.15	27	33	90	60	190	158				
14	-7.77	14.29										129	14.15	42	18	40	60	140	117			6/22	